

**大気環境学会編集委員および査読委員を務めた学会員に対する
大気環境学会誌掲載料の減免措置に関する内規**

1. 大気環境学会編集委員を務めた正会員が筆頭著者または責任著者として大気環境学会誌に投稿した論文の掲載料を減免する。
2. 1の減免は、該当の委員を退任した日の翌日以降2年の間に投稿したもの（受付のメールを受信したもの）で、その後採択に至った論文に対し適用する。
3. 1の減免の割合は、編集委員の任期（1期2年）につき50%とし、連続する2期を務めた場合は100%まで加算することができる。
4. 大気環境学会誌の査読委員を務めた正会員が筆頭著者または責任著者として大気環境学会誌に投稿した論文の掲載料を減免する。
5. 4の減免は、該当の委員を退任した日（著者に採択または不採択のメールが発信された日）の翌日以降から2年の間に投稿したもの（受付のメールを受信したもの）で、その後採択に至った論文に対し適用する。
6. 4の減免の割合は、査読委員1回につき20%とし、初回投稿日（受付のメールを受信した日）を起点に、過去2年間に務めた査読委員の回数に応じて100%まで加算することができる。
7. 1および4の減免は100%を上限として加算することができる。ただし、同一の会員による減免に限ることとし、異なる2名の会員の減免を加算することはない。
8. 1および4の減免の対象は、「大気環境学会誌」投稿規程表1の各論文の種類の刷り上がり最大ページ数および表2の掲載料金価格表で計算される金額を上限とし、超過する部分には適用されない。
9. 1および4の減免は、該当者が別紙「大気環境学会誌掲載料減免申請書」を添えて投稿したもので、編集委員長および編集副委員長がその権利を確認した場合に適用される。
10. 1および4の減免後の掲載料に1円未満の端数が生じた場合、その端数は切り捨てる。

(別紙) 大気環境学会誌掲載料減免申請書

氏 名 : _____
会 員 番 号 : _____
投稿年月日 : _____

本論文の掲載料について、大気環境学会編集委員および査読委員を務めた学会員に対する大気環境学会誌掲載料の減免措置に関する内規に基づき減免を申請します。

1. 本論文における申請者の役割（該当する項目にチェック）

- 筆頭著者 (First author)
- 責任著者 (Corresponding author)

2. 申請する減免の事由の詳細（該当する項目にチェックし、必要事項を記入）

編集委員

任期： _____ 年 _____ 月～ _____ 年 _____ 月（ _____ ）期

査読委員

	査読した論文の論文番号	論文の採否判定年月日
1		
2		
3		
4		
5		

3. 申請する減免の割合

編集委員による減免 : 50% × 任期数 = _____ % (A)

査読委員による減免 : 20% × 着任数 = _____ % (B)

合計 (A+B) : _____ %

(別紙) 大気環境学会誌掲載料減免申請書 (記入例)

氏 名 : 環境 太郎
会 員 番 号 : 01234567
投 稿 年 月 日 : 2025/12/11

本論文の掲載料について、大気環境学会編集委員および査読委員を務めた学会員に対する大気環境学会誌掲載料の減免措置に関する内規に基づき減免を申請します。

4. 本論文における申請者の役割 (該当する項目にチェック)

- 筆頭著者 (First author)
 責任著者 (Corresponding author)

5. 申請する減免の事由の詳細 (該当する項目にチェックし、必要事項を記入)

- 編集委員

任期: 2021 年 9 月 ~ 2023 年 9 月 (1) 期

- 査読委員

	査読した論文の論文番号	論文の採否判定年月日
1	23Y-001	2023/3/24
2		
3		
4		
5		

6. 申請する減免の割合

編集委員による減免 : 50% × 任期数 = 50 % (A)
査読委員による減免 : 20% × 着任数 = 20 % (B)
合計 (A+B) : 70 %